

住宅用火災警報器の設置例

東大阪市火災予防条例では、煙式の火災警報器の設置が必要です!!

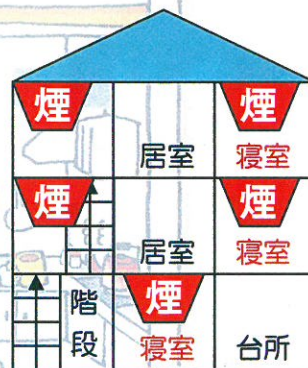
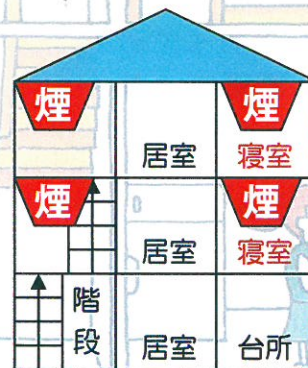
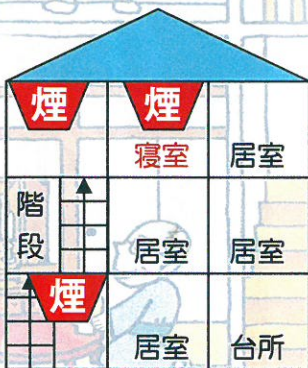
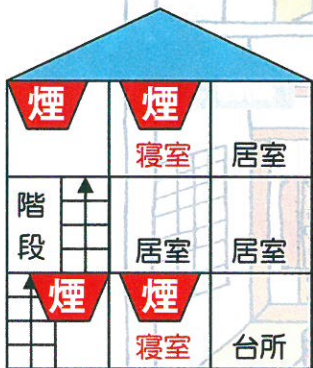
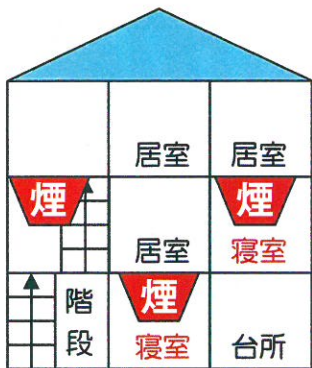
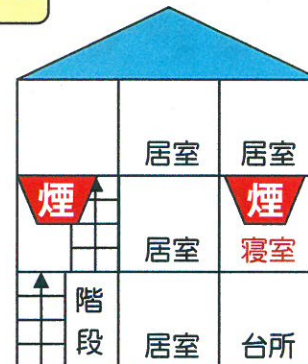
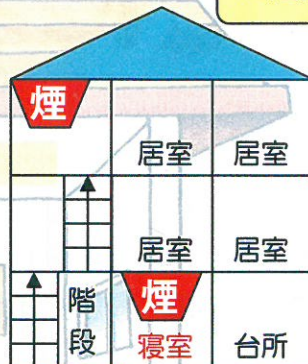
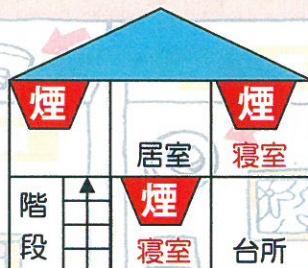
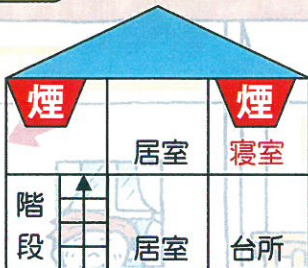
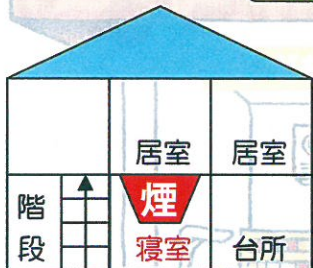
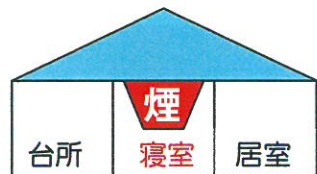
ご自分の家にあてはまる例を探してください
(寝室のある階を良く見てください。)

煙 警報器(煙式)設置場所

3階建て

平屋建て

2階建て



寝室とは

普段寝る部屋で、子供や老人の部屋なども、寝る部屋に使われている場合は寝室となります。

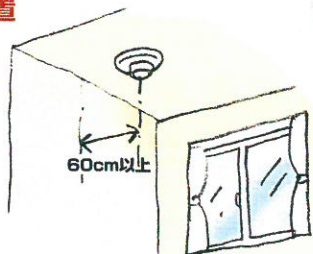
※ マンション等で、自動火災報知設備かスプリンクラー設備が設置されている部屋は、必要ありません。

天井・壁面の取り付け位置

〈天井の場合〉

▼壁面からの取付位置

火災警報器の中心を壁から60cm以上離します。



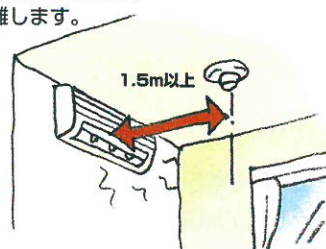
▼梁などがある場合の取付位置

火災警報器の中心を梁から60cm以上離します。



▼エアコンなどの吹き出し口付近の取付位置

換気扇やエアコンの吹き出し口から1.5m以上離します。



〈壁面の場合〉

天井から15~50cm以内に火災警報器の中心がくるように取り付けます。

